

個人情報の不適正聴取に関する情報提供

【事案1】

- 1 発生日時 平成29年3月1日（水）13時50分ごろ
- 2 発生場所 北九州市若松区
- 3 相談者 A氏
- 4 概要 一ヶ月ほど前に、消防署を名乗る者から自宅の固定電話に「地震発生時に、一人暮らしの高齢者宅へは消防署の隊員が迎えに行くことになりました。その調査のため電話連絡しています。現在何人でお暮らしでしょうか。後日、パンフレットを送付します。」との連絡があり、2人暮らしであると返答した。また電話してきた人物は、Aの名前と住所を把握していたが、電話後の訪問等（接触）はないとのこと。
この電話連絡から一ヶ月が経過するが、パンフレットが届かないので不審に思い消防署へ問い合わせたとのこと。

【事案2】

- 1 発生日時 平成29年4月14日（金）午前7時半ごろ
- 2 発生場所 北九州市戸畑区
- 3 相談者 C氏
- 4 概要 平成29年4月14日午前7時半ごろ、非通知で「消防署からですが、地震対策で電話しました。75歳以上の方に連絡しています。家族構成を教えてください。」との電話があった。
「夫婦2人です。」と答えたところ、相手から「1週間位で書類が届きます。」と言われたが、名前を名乗らなかったため、不審に思い、相談のため来署したもの。

【事案3】

- 1 発生日時 平成29年4月16日（日）15時00分ごろ
- 2 発生場所 北九州市若松区
- 3 相談者 B氏
- 4 概要 平成29年4月16日（日）15時00分ごろ、消防職員を名乗る者から、「災害に対しての訓練で必要なので、家族構成を教えてください」との電話があり、「二人」と答えたら電話を切られた。
不安になり消防署へ問い合わせたもの。

【事案4】

- 1 発生日時 平成29年7月8日(土) 8時30分ころ
- 2 発生場所 北九州市八幡西区
- 3 相談者 高齢の女性
- 4 概要 平成29年7月8日(土) 8時30分ころ、男性の声で「消防署からだが、一人暮らしの名簿にあなたが載っている。家族のことを教えて欲しい。」との電話がかかってきた。
電話を受けた相談者が「答えられない」と回答を拒否すると、一方的に電話を切られた。
その後、不審に思った相談者が民生委員に相談し、相談を受けた民生委員が消防署へ確認の電話をしてきたもの。

【事案5】

- 1 発生日時 平成29年7月10日(月) 8時00分ころ
- 2 発生場所 北九州市八幡西区
- 3 相談者 高齢の女性
- 4 概要 平成29年7月10日(月) 8時00分ころ、男性の声で家族構成を聴取しようとするような電話があった。
電話の内容を要約すると「消防署からの連絡であり、避難所の調査の関係で書類を送る。また、併せて家族構成を教えて欲しい。」との内容であった。
電話を受けた相談者がある程度の説明は聞いたが、家族構成については回答を拒否した。
その後、不審に思った相談者が消防署へ確認の電話をしてきたもの。

【事案6】

- 1 発生日時 平成29年7月10日(月) 8時00分ころ
- 2 発生場所 北九州市八幡西区
- 3 相談者 女性
- 4 概要 平成29年7月10日(月) 8時00分ころ、男性の声で消防署からの連絡を装い、家族構成を聴取しようとするような電話があったが、電話を受けた相談者が一方的に電話を切った。
その後、電話を不審に思った相談者が消防署へ確認の電話をしてきたもの。

【事案7】

- 1 発生日時 平成29年7月8日（土）又は9日（日）の昼頃
- 2 発生場所 北九州市八幡西区
- 3 相談者 女性
- 4 概要 平成29年7月8日（土）又は9日（日）昼頃、男性の声で家族構成等を聴取しようとするような電話があった。

内容としては、高齢者を対象としていること、地震の避難訓練のこと及び資料を送付するといった旨のものであった。

その後、別の電話で「荷物を送るので10万円用意するように」との電話があったが、前記内容との関連は不明である。

内容を不審に思った相談者の娘が消防署に問い合わせたもの。

なお、10万円用意するように言われた件については警察へ相談するとのことであった。

情報提供一覧表

	受信日	消防本部（局）	件名	内容	不適正取引業者名等	備考
1	平成28年7月1日	由布市消防本部	防災グッズ関連の送付に関する市民からの相談について	平成28年 7月1日(金)16時30分頃、市内の男性から消防本部に、「私の母親が先ほど電話で東北訛りの男性から「由布市消防署のものです、一人暮らしのお年寄りに防災グッズ（または避難グッズ？）を今送らせてもらっています。あなたは一人暮らしですか？と若い男性から電話があり、一人暮らしではなかったため「いいえ、違います」というと「そうですか」と言って電話を切ったとのことなのですが、今現在、由布市消防本部ではそのようなことを行っているのでしょうか」との問い合わせがあった。 消防からは防災グッズ等を送付することではなく、送られてきても受け取ることの無いように指導した。	不明	
2	平成28年9月20日	別府市消防本部	防災資料の配布等に関する市民からの相談について	平成28年 9月20日(金)13時30分頃、市内女性から消防本部に、「本日午前9時30分頃、自宅に男性から番号非通知の電話があり、「消防です。一人暮らしの高齢者に防災グッズを配布しています。10月の末日にお届けします」といわれました。その日は家にいるかわかりませんと伝え、特に断りもせず電話を切ったのですが、心配になったので、消防署に電話しました。消防署ではそのようなことを行なっているのですか。」との問い合わせがあった。 消防からは防災グッズを送付することではなく、送られてきても受け取ることの無いように指導した。	不明	
3	平成29年3月1日	由布市消防本部	防災グッズ関連の送付に関する市民からの相談について	平成29年3月1日(水)18時40分頃、市内の女性から消防本部に、「「挟間の消防署ですが、地震や災害の防災用品を送ります（送らせてもらいます）」との電話が掛かったが、消防署はそういうことはしてないですよね？」との問い合わせがあった。消防からは防災用品等を送付することではなく、送られてきても受け取らないよう伝えた。	不明	
4	平成29年3月10日 平成29年3月19日	別府市消防本部	防災資料の配布等に関する市民からの相談について	平成29年3月10日（金）15時40分頃、一般市民（女性）から問い合わせがあり、消防職員を名乗る者から「防災資料の配布を行っている、配布しても良いですか。」と電話があったため断ったとの事であった。また、平成29年3月19日(日)夕方、市内の一人暮らしの女性宅に、消防署員を名乗る者から「災害時の誘導書を作成したので、渡します。」という内容で男性から電話があり断ったが、後日同じ人物から再度電話で「書類ができたので11万円用意してください、払わなければあなたの口座から引き落とします。」と言われた。消防署の職員が電話しているのかと、両女性から問い合わせがあったため、消防署はそのような事は行っていない事を伝え、警察へ相談するよう勧めた。	不明	
5	平成29年5月9日	佐伯市消防本部	防災グッズの配布等に関する市民からの相談について	平成29年5月9日（火）11時30分頃、一般市民（女性）から問い合わせがあり、『防災グッズの配布を行っている、送っても良いですか～住所・番地等を教えてもらいたい』と男性から電話があったが、不審に思い答えなかった。その後相手が電話を切った。 防災グッズの配布を本当に行っているのか確認の為に消防本部に問い合わせしてきたもの。 消防本部から市役所、防災危機管理課に問い合わせしてみたが、そのような事業は行っていない旨返答あり。本人に、その旨返答した。	不明	
6	平成29年5月10日	佐伯市消防本部	災害時優先避難に関する市民からの相談について	平成29年5月10日（水）9時30分頃、一般市民（70歳台女性）から佐伯市、災害課を名乗る男性から『災害が発生した時、一番に助けに行くので、住所・番地・一人暮らし等の問い合わせがあり、すべて返答した』その後、不審に思い消防本部に問い合わせしてきたもの。 そのような連絡は実施していない旨返答した。 ほかにも不審電話があるかも知れないので気をつけるように伝え、何かあれば消防本部・警察署に連絡するように返答した。	不明	
7	平成29年6月4日	別府市消防本部	詐欺に関する情報提供について	平成29年 6月4日(日)16時00分頃、市内で一人暮らしの女性宅に消防を名乗る者から「あなたは一人暮らしですか？」との問合せがあり、「はい」と答えた。 同日のうちに、同一と思われる者から再度電話があり、「あなたの自宅に10万円位の荷物を送りました。」との内容であったそうです。本人が警察へ連絡し、別府警察署から当消防本部へ情報提供をいただいた事案である。	不明	
8	平成29年6月26日	津久見市消防本部	不審電話に関する情報提供について	消防署の木村という人から電話がかかり対応したところ、「防災訓練の指導の電話です。家族構成を教えてください」との質問があり「主人と2人です」と答えたら、すぐ電話を切られたとのこと。 不審に思った市民から消防署へ問い合わせあり、通信員が対応し、「木村という職員はいませんし、訓練指導も行っておりません」と回答した。	不明	

9	平成29年7月9日	別府市消防本部	詐欺に関する情報提供について	<p>平成29年 7月9日(日)10時20分頃、市内で一人暮らしの女性宅に消防署(キモト)を名乗る者から「家庭に防災資料の配布を行っています。お一人住まいですか?」との問合せがあり、「一人住まいです。」と答えると、「では防災資料の配布をしても良いですか?」と言われ「必要ありません。」と言って電話を切った。</p> <p>また、同日10時48分頃、別の世帯にも消防署(キムラ)と名乗る者から、同様の内容で電話があり「1人暮らしですか?」と言われ「2人です。」と答えると、電話を切られたとの内容でした。</p> <p>【回答】 上記2の件に対して、消防職員にキモト、キムラという者はいません。 消防署から防災資料等を電話にて斡旋する様なことはない旨両者に説明をし、警察へ相談するよう勧めた。</p>	不 明	
10	平成29年7月11日	別府市消防本部	詐欺に関する情報提供について	<p>平成29年 7月11日(火)に市内在住の女性宅に男性から電話があり、「消防署の者ですが、配布物があります。何人でお住まいですか?」と聞かれたため「2人です。」と答えると電話が切れたとのことであった。</p> <p>電話を受けた女性が不安になり、消防署では配布物を配っているのかとの問合せがあった。</p> <p>消防署ではそのような事は行っていないと回答し、今後も不審な電話が続くようであれば警察へ連絡するよう促した。</p>	不 明	
11	平成29年7月11日	国東市消防本部	消防署を装った不審電話について	<p>7月11日(火)19時30分頃市内在住の一般住宅に「消防署の者ですが、現在75歳以上の高齢者のいる家庭を対象に防災の避難訓練を行っています」といった内容の電話がかかってきた。</p> <p>家人が81歳の祖母がいるが、現在施設に入所中であると回答したところ、無言で電話を切られたとのことであった。</p> <p>その後不審に思った家人が国東市消防署南分署へ通報し覚知したものである。</p> <p>当消防本部ではその様な取り組みは行っていない事と、警察にも相談するよう家人に伝える。</p>	不 明	